

鎌倉市国民健康保険条例の一部を改正する条例について（令和 8 年 4 月 1 日施行）

1 子ども・子育て支援金を国民健康保険料から徴取するための改正

(1) 保険料の賦課方式について

	所得割	均等割	平等割（世帯割）
医療分（3 方式）	○	○	○
後期支援分（3 方式）	○	○	○
介護分（3 方式）	○	○	○
【新規】子ども・子育て支援金分（2 方式）	<u>○</u>	<u>○（18 歳以下は全額軽減）</u>	<u>二</u>

○賦課方式について県からの提案内容

ア 令和 18 年度に神奈川県内の保険料の完全統一を目指しており、保険料の徴収方式は被保険者数が多い市（主に横浜市・川崎市等）で採用している 2 方式（所得割 60/100、均等割 40/100）を採用する方向。新たに賦課される子ども分については、2 方式で統一するのが合理的である。

イ 子ども・子育て支援金制度の趣旨から、「18 歳以下の均等割は全額軽減される」ことを考慮すると、18 歳以下を含む世帯に対して賦課する平等割は馴染まない。

⇒子ども・子育て支援金分について本市は県の提案のとおり 2 方式（所得割、均等割）で賦課する。

(2) 本市の年間保険料増加額について

県の納付金の試算から、子ども・子育て支援金について鎌倉市の一人当たり保険料は月額 418 円増加する見込み。（令和 8 年度の保険料は、令和 7 年中の所得で令和 8 年 5 月に算定されます。）

以上